

こだま Q&A



Q20

EB ウイルス抗体検査での FA 法と EIA 法の使い分けを教えてください。

A20

当検査センターにおける受託実績では、現状では FA 法のほうが多いです。しかし、感度という観点でいえば、当然 EIA 法が優れています。

特異度においても、EIA 法は抗原がリコンビナント（遺伝子組み換え）であるために優れています。

とはいうものの、FA 法の抗原は培養細胞のため、幅広い抗体を検出できます。（検査項目数も FA 法の方が多い）

使い分けの一案としては、小児の伝染性単核症等における初感染診断には感度のよい EIA 法が適し、再活性化による慢性活動性 EB ウイルス感染症には抗体の倍数でわかる FA 法が良いかと思われます。

お問合せ：☎代表 0120-14-7191（フリーダイヤル） / 082-247-7191（ダイヤルイン）



きやつちボール

私は格闘技が非常に好きで、ジャンルを問わず必ずチェックしています。少し前の話になりますが、ボクシングの統一戦が行われ、井岡一翔選手が日本人初の WBC・WBA 統一チャンピオンとなりました。今後は階級を上げて複数階級制覇に挑戦していくようです。チャンピオンで防衛を重ねていくことも立派ですが、それにとどまらず常に新しいことにチャレンジし続ける精神に非常に感銘しました。

私も、現状に満足せず、常に新しいことにチャレンジしていける勇気と行動力を持つよう努力し、先生方のお役にたてればと思います。

榎本 健（検査科副技師長 兼 検査 2 科科长 兼 検査管理課）